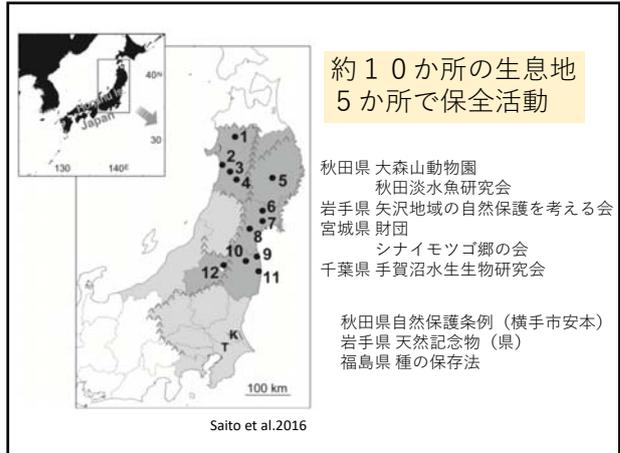


ゼニタナゴ保全の 取り組みと課題



藤本泰文

(公財) 宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団



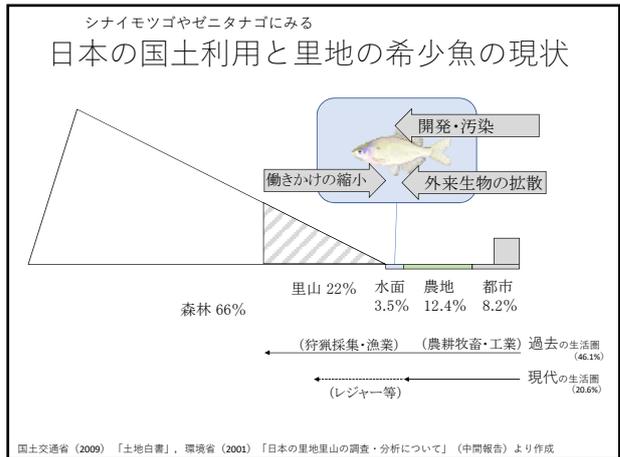
地域	生息地	域	複	流
大森山動物園	ため池(保護区)	*		
花巻	複数のため池		*	
伊豆沼	ため池→伊豆沼・内沼	*	*	
鹿島台	複数のため池→河川	*	*	
手賀沼	複数のため池		*	

域内保護区

複数池

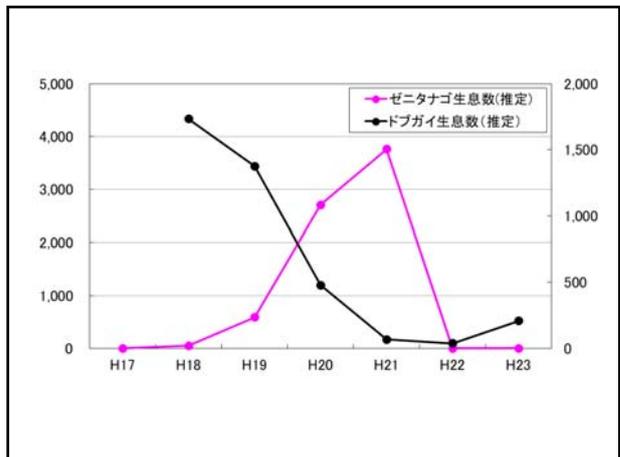
流域保全

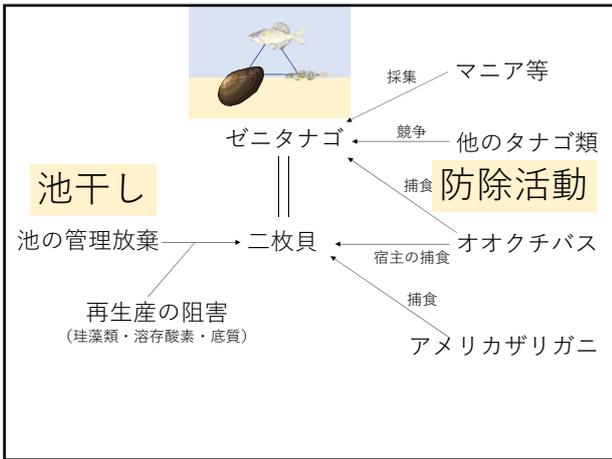
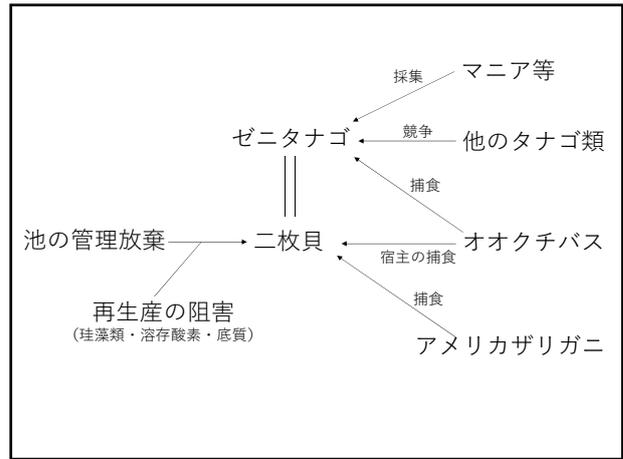
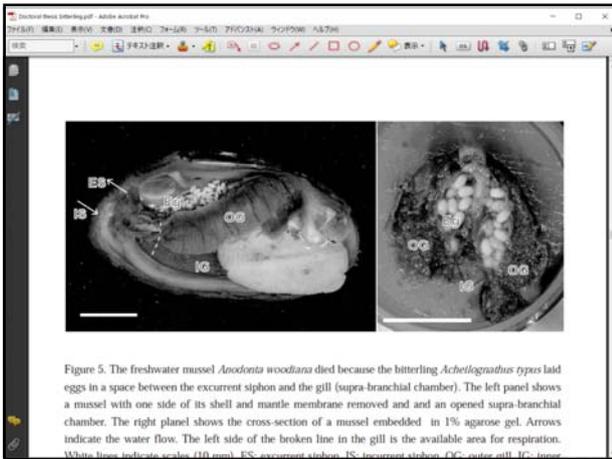
発見・保護・移殖・分散 リスクの存在



絶滅要因

	伊豆沼	池A	池B	水路A	花巻
他のタナゴ類			*	*	
オオクチバス	*				
二枚貝の減少(過剰産卵)		*			*





保全上の主な懸念事項

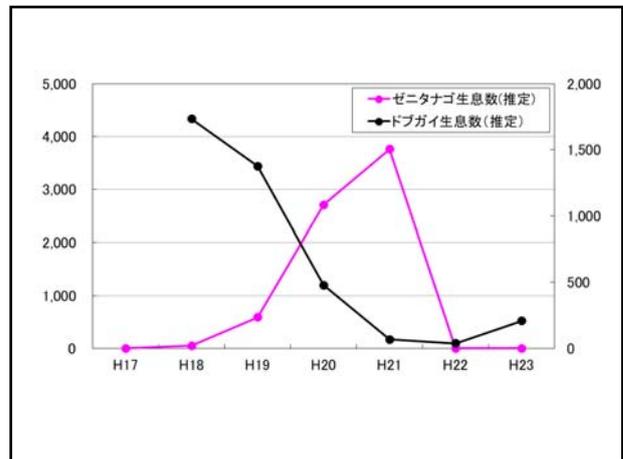
	大森山	花巻	伊豆沼	鹿島台	手賀沼
マニアによる採集		*		*	
他のタナゴ類					
オオクチバス			*		
二枚貝の減少	*	*	*	*	*
アメリカザリガニ	*	*		*	*
管理不足 (池干し)			*		

課題1

鹿島台の中核ため池 (上) では、アメリカザリガニ防除をしたら、タガイが増えた。

伊豆沼周辺 11箇所のゼニタナゴ生息地 全てにアメリカザリガニと二枚貝 (タガイ) が生息している。

アメリカザリガニが生息≠二枚貝絶滅 (激減)



課題2

2020年
NPO法人 コッポンバラタナゴ高安研究会
タナゴ研究会

代表メッセージ

私のタナゴは、高安山の遺跡・登山の地産物を利用する新しい体験型観光資源を作り、地域の活性化に貢献し実現したいと考えています。自然環境を守るコッポンバラタナゴを未来の子どもたちに残すことです。

高安山の遺跡・登山の地産物を利用する新しい体験型観光資源を作り、地域の活性化に貢献し実現したいと考えています。自然環境を守るコッポンバラタナゴを未来の子どもたちに残すことです。

高安山の遺跡・登山の地産物を利用する新しい体験型観光資源を作り、地域の活性化に貢献し実現したいと考えています。自然環境を守るコッポンバラタナゴを未来の子どもたちに残すことです。

タナゴ研究会のご案内

課題2

池干し

↓

酸化した腐葉土を含む山土を入れた(珪素, 有機酸鉄)

↓

二枚貝が再生産

この知見を活かして
二枚貝の復元に成功した生息地がない

↓

伊豆沼でも方針が立てにくい



面積とコスト

小規模 大規模

池干し等

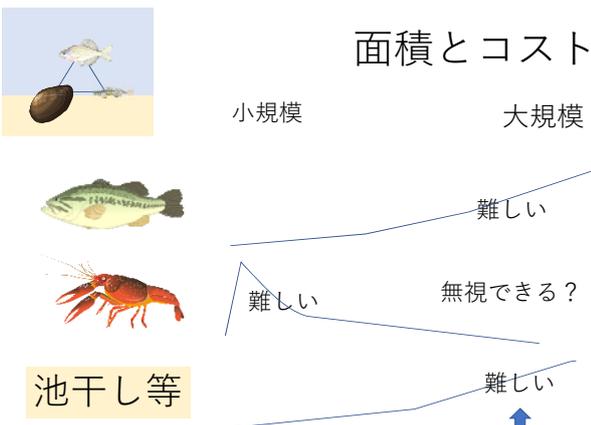
難しい

無視できる?

難しい

難しい

伊豆沼ではここが課題 ↑

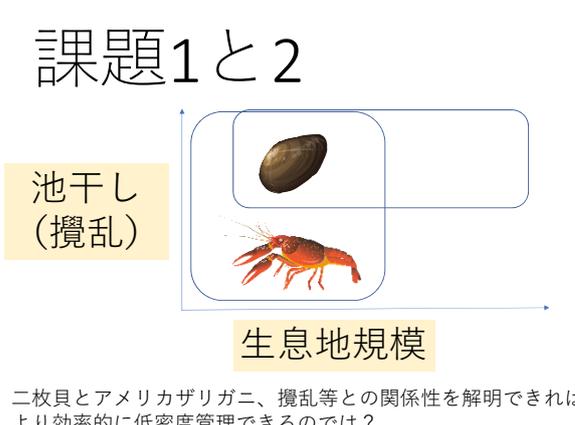


課題1と2

池干し (攪乱)

生息地規模

二枚貝とアメリカザリガニ、攪乱等との関係性を解明できれば、より効率的に低密度管理できるのでは?



これまでの経緯

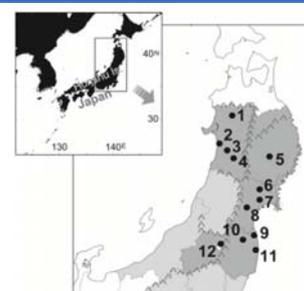
- 1996年 オオクチバスによる被害拡大
- 2004年 バス・バスターズ
- 2009年 普通種(モツゴ等)回復開始
- 2013年 ミコアイサ増加
- 2015年 ゼニタナゴ1個体確認
- 2018年 タナゴ1個体確認
- 2019年 ゼニタナゴ産卵確認

伊豆沼・内沼 成魚 卵・仔魚 稚魚

本種はかつて、東日本に広く生息し(灰色部)、伊豆沼は最大の生息地として知られていた。

現在では生息地が約10か所しかない。絶滅危惧IA類(環境省・宮城県) IUCN 絶滅危惧 類(VU)に指定、若手県では天然記念物、秋田県の一部と福島県では種の保存法により採集禁止されている。

絶滅危惧 A類に指定されてくる希少種が外来魚防除により湖沼で再定着した例は国内初。今春、稚魚を確認したい。



池干し

水質 底質改善 ↓ 溶存酸素・泥質化 植物プランクトン

防除活動

外来生物の拡散

働きかけの縮小

池干しが二枚貝の回復に寄与(八尾ニホンバラタナゴ)

タイリクバラタナゴ・カネヒラ ゼニタナゴ

開発・汚染

